

大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

本大会では、昨年の第七十二回京都大会から二年目となる大会主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実現を目指すし、これまでの研究成果と課題を引き継ぎ、組織をあげ鋭意努力してきた。

これからの社会は、Society 5.0の実現に向けて急激に変化するとともに、グローバル化も一層進んでいく。さらに、少子高齢化・人口減少社会を迎え、労働環境も大きく変わっていくことになる。このような中、我が国では、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会の再構築が求められている。教育においては、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するため、「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメント等の確立を図り、幅広くグローバルな視野で教育活動を創造しなければならぬ。また、今日の課題として、東日本震災をはじめとする災害からの教育復興に向けた被災各地における教訓と取組を共有することや、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況である中、感染予防策の徹底を図り、子どもたちの健康安全の保持や学習機会と学力を保障することにも継続的に取り組んでいかなければならない。こうした社会の変化や国の動向を注視しつつ、自立的に生き抜くために必要な「生きる力」とふるさとの自然・文化・伝統を愛し、様々な人々とのつながりの中で、自らの人生や社会をよりよくしていくとする思いを確実に育むことが学校教育の責務である。さらに子どもたちには、持続可能な豊かな社会の創り手となることが求められている。そのため、小学校教育においては、自ら課題を見つけ、主体的に取り組み、他者と力を合わせ解決する力と実践的な態度を育み、広い視野にたつて社会に貢献できる子どもを育成することが重要である。

私たち校長は、石川大会における副主題「ふるさとを愛し 主体的・協働的に学び 豊かな未来社会を創る子どもの育成」を基盤に据え、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第七十三回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一、自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一、ふるさとを愛し 主体的・協働的に学び 豊かな未来社会を創る子どもの育成
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成 実施・評価・改善
- 一、道徳教育や人権教育を中核とし、命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域等との連携・協働による教育活動の充実
- 一、新型コロナウイルスの感染症対策を含めた安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上と学校の教育力向上を目指す研究・研修の推進
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の推進

右、宣言する。

令和三年十月十五日

第七十三回全国連合小学校長会研究協議会石川大会